

賀 1912 正

洋書と材料

春鳥堂洋畫陳列所

陳列畫筆者

赤城泰舒

榎本 澁

寺田 季一

水野 以文

其他諸氏(略)

相田 寅彦

瀧澤 靜雄

八木 定祐

望月 省三

春鳥堂洋畫陳列所へ御光來いでになれば日本水彩畫會の諸氏の温いひ新しい作品に接することが出來ます尙ほ御希望によつては御頒ちも致し肖像畫や意匠、圖案等の御依頼にも應じます

春鳥堂洋畫材料店

一油繪用品一式
一洋畫用各種額椽

一水彩畫用品一式
一其他一般洋畫用品

春鳥堂洋畫材料店は親切にして優良な品物を安價で提供する事を唯一の商策として居ります

洋書と材料

春

鳥

堂

東京市牛込區水道町五三
水道町石切橋停留所の前

北山(振替口座東京)
四三七三番

本誌規定

發行日 毎月一回 三日

定價

一冊送料共金二十五錢、三冊金七十錢、六冊金一圓三十錢、十二冊金二圓五十錢、見本一冊郵券にて金二拾錢但號數の指定に應ぜず

會友

送金

注意

廣告料

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

注意

(後付の一〇)

不許複製

本誌を本會より毎號直接に講讀するものは本會の會友として優遇すべし
前金のほか一切送本せず○前金切の時は包紙に注意すべし○代金拂込は振替貯金を望む○本會振替貯金口座番號東京六九六三番○郵便爲替拂渡局は必ず東京小石川日向水道町郵便局○郵券代用は一冊二十七錢の割
代金の受取證を要するものは返信料を送れ○住所姓名を明記されし○注文の際に第何號よりと明記されし○問合せは必ず往復ハガキ
一頁金五圓○半頁金三圓○メ切前月十日

明治三十八年六月二十八日内務省許可
明治四十四年十二月廿八日印刷納本
明治四十五年一月三日發行

(第八十三)

編輯兼發行人

東京市小石川區關口駒井町三番地 大下 春子

印刷者

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 藤本 兼吉

印刷所

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十三番地 株式會社 秀英 舍第一工場

發行所

東京市小石川區關口駒井町三番地 春鳥會

大賣捌所

東京市神田區表神保町 東京堂